

津輕昭子、つがる歌人。明治二十年二月五日東京生れ、昭和四十七年十一月二十八日歿（八七七一九七）。本名くる。伯爵小笠原忠忱たけひらの長女、小笠原長幹ながのりの妹。華族女學校卒。夫の伯爵津輕英磨と死別後、竹相會に入り佐佐木信綱の創事。昭和五年兒山敬一と表現社を興し、機關誌『短歌表現』を創刊。

著書『野の道』（大正十二年五月）二十五竹相會、東京堂發賣「心の華叢書」）、『太田女子全集』（兒山敬一共編、昭和十年四月）二十五  
 『太田茂滿刊、表現社』、『あづまのしき繪』（昭和十年七月）二十五  
 『表現社「表現叢書」』、『うら紙草子』（昭和十七年十月）二十  
 『長田房』、歌集『紅雲』（昭和十九年八月一日長田良子編刊）等。

